

2023年度自転車駐車等に関する実態調査結果について

自転車は、買物や通勤・通学などの日常生活における身近な移動手段として幅広く利用されています。その一方で、愛知県内の駅周辺等には、多くの放置自転車等があり、歩行者の安全な通行の妨げになるばかりでなく、防災や都市景観などの面からも社会問題となっています。

このため、愛知県では、駅周辺における自転車駐車等に関する調査を1981年度から毎年実施し、放置等の現況を把握するとともに、市町村を始め関係機関と連携を図りながら放置自転車等の対策を推進しているところです。

この度、愛知県では、2023年10月から11月にかけて各市町村が調査した放置自転車等の状況（雨天でない平日の午前11時頃の状況）や、2022年度中における撤去・処分状況等の結果をまとめました。

その概要は下記のとおりです。

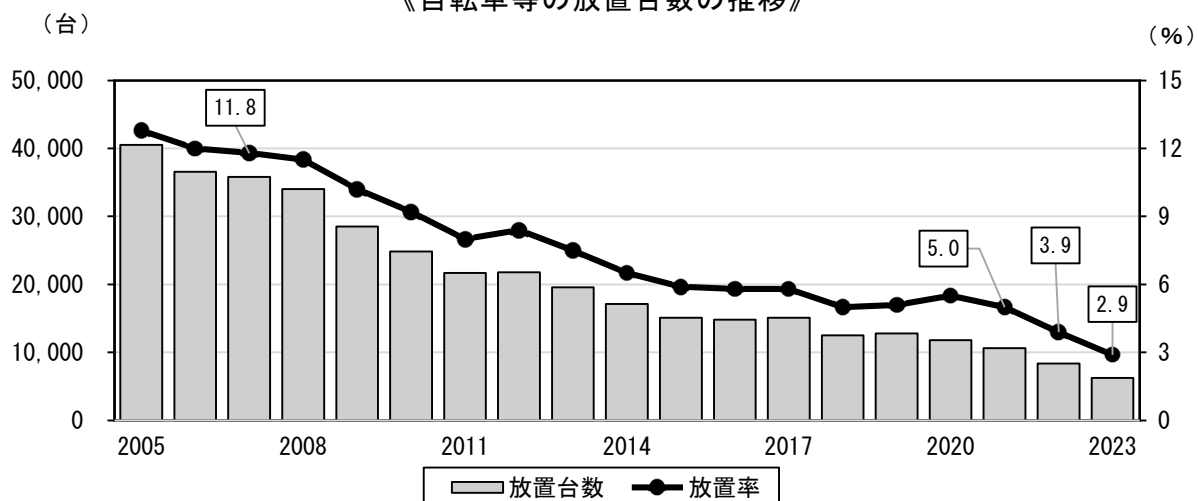
記

1 放置の状況（自転車・バイクの状況）

(1) 概要

- 自転車・バイク（以下「自転車等」とする。）の放置台数は**6,243台**で、前年度より**2,111台減少**（対前年度比**25.3%減少**）
- 駐車場利用台数は**207,218台**で、前年度より**2,308台増加**（対前年度比**1.1%増加**）
- 放置率は**2.9%**で、前年度に比べて**1.0ポイント減少**

《自転車等の放置台数の推移》



| | 2023年度 | 対前年度増減数 | 前年度比 |
|-------------------|----------|---------|----------|
| 自転車等総駐車台数 (A=B+C) | 213,461台 | 197台 | 0.1% |
| 自転車等駐車場利用台数 (B) | 207,218台 | 2,308台 | 1.1% |
| 自転車等放置台数 (C) | 6,243台 | △2,111台 | △25.3% |
| 放置率 (C/A) | 2.9% | — | △1.0ポイント |

(2) 駅別の放置状況

- 自転車等が放置されている駅数（放置台数 30 台以上）は **60 駅**で、前年度より **3 駅減少**
- 放置台数の最も多い駅は、**上前津駅（574 台）**で、放置台数は昨年度より **22 台増加**
- **久屋大通駅（昨年度 1 位）**は、今年度から**放置禁止区域に指定された**こともあり、昨年度より **143 台減少**

《駅別放置状況（放置台数の多い駅：上位 5 駅）》

| 順位 | | 駅名 (バス停名) | 放置台数 | 対前年度増減数 | 前年度比 |
|---------|---------|--------------|-------|---------|--------|
| 2023 年度 | 2022 年度 | | | | |
| 1 | 2 | 上前津 | 574 台 | 22 台 | 4.0% |
| 2 | 1 | 久屋大通 | 526 台 | △143 台 | △21.4% |
| 3 | 3 | (東新町) | 467 台 | △68 台 | △12.7% |
| 4 | 4 | 丸の内 | 361 台 | △171 台 | △32.1% |
| 5 | 1 2 | 大門 | 239 台 | 21 台 | 9.6% |

2 放置自転車等の撤去・処分の状況（2022 年度中）

- 2022 年度中に撤去された自転車等は **37,064 台**で、前年度より **1,959 台増加**
- 撤去された自転車等のうち、所有者に返還されたものは **13,837 台**で、前年度より **1,577 台増加**（返還率は **2.8 ポイント増加の 28.0%**）
- 処分された自転車等のうち、廃棄物として処分されたものは **9,585 台**で、前年度より **170 台減少**。リサイクルされたものは **13,252 台**で、前年度より **1,796 台減少**

《撤去・処分の状況》

| | | |
|-----------|---------------|------------|
| 撤去台数等 | 2021 年度末の保管台数 | 12,434 台 |
| | 2022 年度中の撤去台数 | 37,064 台 |
| | 計 | A 49,498 台 |
| A のうち返還台数 | | B 13,837 台 |
| A のうち処分台数 | 廃棄物 | 9,585 台 |
| | リサイクル | 13,252 台 |
| | その他 | 543 台 |
| | 計 | 23,380 台 |
| 返還率 | B/A | 28.0 % |